

「KeePerの“Wの透明被膜”」なら「水はじき阻害被膜」もすぐに取れます

長期間持続するボディガラスコーティングも、ときに数か月程度で水はじきが弱くなる場合があります。
その原因是、コーティングが落ちたわけでも、壊れたわけでもなく、水はじきを邪魔する汚れが覆ったからです。

水はじきを邪魔する 「ミネラルの膜=水はじき阻害被膜」

水はじきを邪魔する汚れの原因は、自動車排気ガス、花粉、鉄粉など多く存在します。の中でも、特に水はじきを妨げるのが「ミネラル」。「ミネラル」は、水道水や井戸水、黄砂を含む雨、降雪地域では消雪パイプ水や融雪剤に含まれており、放っておくと薄い膜となってコーティング表面に付着します。このミネラル膜を「水はじき阻害被膜」と呼んでいます。

無機質ミネラルは、 一般的なボディガラスコーティングに 付きやすい

特に一般的なボディガラスコーティングのガラス被膜は、ミネラルと同じ無機質で形成されているため、水はじき阻害被膜が頑固に固着しやすくなります。ミネラルが蓄積し続けると、ミネラルが蓄積し水はじきを強力に邪魔するだけでなく、「頑固な水ジミ跡」になることもあります。

KeePerの「Wの透明被膜」は、 ミネラルの固着を防ぐ

しかし、キーパーコーティングは、一般的なガラスコーティングとは異なり、ガラス被膜とレジン被膜の「Wの透明被膜」で構成されています。1層目のガラス被

膜を、ミネラルの固着を防ぐ特殊なレジン被膜で覆っています。つまりミネラルの膜である水はじき阻害被膜の固着を防ぐ構造になっており、この構造と効果は、特許を取得しています。そのため、水はじきが落ちてきたとしても、洗車後にマイクロファイバークロス(キーパークロス)で拭き上げれば、水はじき阻害被膜が簡単に取れて、元どおりの水はじきに戻すことができます。

頑固な場合も 「KeePerのミネラル取り洗車」で解決

また、頑固に固着してしまった水はじき阻害被膜も、キーパーコーティングが施工されているならば「ミネラル取り洗車」でます取れます。

水はじき阻害被膜は、ミネラルがまだら模様に乗っているような状態なので、レジンを含ませたマイクロファイバークロスで拭くと、ミネラル被膜の隙間から顔を出しているレジン被膜面とレジン成分がなじみ合いながら、頑固な水はじき阻害被膜も一緒に搔き取れ、元の水はじきに戻すことができます。

ミネラル取り洗車は、キーパーコーティングの特殊なレジン被膜があるからこそできる独自の洗車なのです。

キーパーコーティングだからこそ、 高いレベルの水はじき、 汚れにくさが長く続きます。

KeePer独自の「ミネラル取り洗車」



頑固になった水はじき阻害被膜もレジン被膜の成分をほんの少し含ませたマイクロファイバークロスで拭き取れば…



消雪パイプによる水アカ・黄ばみ汚れに関するQ&A

Q.なぜ降雪地区の 消雪パイプから出る水で汚れるの？

A. 降雪地区的、消雪パイプから流れる地下水には、「鉄サビ」と「ミネラル」を多く含んでいるためです。

Q.消雪パイプの鉄サビ汚れはどう取るの？

A. 軽度の場合「WDC消雪パイプ錆クリーナー」を10分程度漬け置きし、キーパークロスで擦りながら、鉄サビを水で洗い流します。

*重度の場合、上記の「WDC消雪パイプ錆クリーナー」の作業の後に、「爆白ONE」とキーパークロスで「鉄サビ」「ミネラル」汚れを根こそぎ擦り落とします。

重度の消雪パイプの錆汚れには、人体そして車に安全、かつ抜群の仕上がりになる「WDC消雪パイプ錆クリーナー」と「爆白ONE」を用いた方法をご活用ください。

①消雪パイプ錆クリーナーを 10分程度漬け置きし、水で洗い流す。



⇒表面の鉄錆は比較的簡単に落ちます。

②爆白ONEを付けた キーパークロスで擦ります。



⇒その「ミネラルの膜」がすっきり落ちてキレイになります。

「ホイールコーティング2」の チラシを作成しました

ダウンロードサイトで無料ダウンロードできます！

[キーべー ダウンロード](#)

検索

新サービス「ホイールコーティング2」のチラシを作成しました。すでにホイールコーティングを導入している店舗でも、初めて導入する店舗でもご活用いただけるデザインとなっています。キーべーのダウンロードサイトで無料ダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

「ホイールコーティング2」の
マニュアルもできました！
「製品・マニュアル」ページから
ダウンロードしてください。